

対象国の条件:アフリカ・中東地域

研修コース番号:201984000-J002

案件番号:201984000

主分野課題:教育/乳幼児ケアと就学前教育

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

本研修での幼児教育は、就学前教育だけでなく、栄養や健康等を含む総合的な発達を扱う。社会経済的に困難な環境にある子どもたちに対して適切な環境を整えることは、社会情動スキルの発達、学力獲得や社会生活への適応を促し、生涯において貧困や不利な環境を克服する能力の獲得を容易にすることが実証的研究によって報告されている。本研修では、ECDは貧困削減と格差是正の有効な方策との認識に立ち、アフリカ・中東地域の政策レベル担当者を対象とする研修を実施し、日本のECDの知見を参加各国へ還元することを通して、ECDの質の改善に貢献することを目指す。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

参加者が日本で得たECDに関する専門知識・経験を自国に持ち帰り、所属組織及び他関係者へのフィードバックを通して、自国の幼児教育・ECDの改善に貢献する。

【成果】

1. 所属組織での問題点を発見・整理し、解決すべき課題を抽出・共有し、改善策を検討する
2. ECDの概念・内容・動向に対する理解を深める
3. 幼児教育における格差問題とその是正策について理解を深める
4. 子どもの発達に応じた適切な保育内容・保育方法・教材作成について理解を深める
5. 教員養成・研修のシステムに対して理解を深める
6. 幼児教育における評価について理解を深める
7. 日本での研修成果を自国の幼児教育に活用・反映・普及させる

【対象組織】

・中央の教育省、子ども省等、政策レベルで幼児教育や就学前教育を監督している省庁

【対象人材】

・中央の教育省、子ども省等、政策レベルで幼児教育や就学前教育を監督している省庁の担当課長レベル

内 容

- ・講義: ECDの概念と国際動向/保育園の実際/日本の幼児教育概要/保育・幼児教育のカリキュラム/保育者の養成と研修/幼児教育における評価/「遊びを通じた学び」への理解促進/初等中等教育(特に小学校教育)と幼児教育の連携を意識した支援強化、等
- ・ディスカッション: 幼児教育の比較/振り返り/レポートに基づく協議
- ・視察: 日本の幼児教育の理念と方法/幼児教育と初等教育の連携等
- ・ワークショップ: 乳幼児の保育について/「遊びを通じた学び」への理解促進、等
- ・レポート発表: インセプションレポート/インテリムレポート

※本研修では、KCCP「知識共創(Knowledge Co-creation)」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

本邦研修期間

2019/11~2019/12

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA東京(人間計画)

関係省庁

実施年度

2018~2020

主要協力機関

お茶の水女子大学

**特記事項
及び
ホームページ**

お茶ノ水女子大学グローバル協力センターHP
<http://www-w.ao.ocha.ac.jp/intl/cwed/>